

# 高齢者施設・障害者施設における換気のチェックリスト

季節を問わず、新型コロナウイルス感染症対策には、こまめな換気が重要です。高齢者施設や障害者施設には、重症化リスクの高い方や基礎疾患のある方がいらっしゃるため「換気の悪い密閉空間」を改善するよう、十分に対策を講じましょう。

## 機械換気設備を確認しましょう

※ 高齢者施設・障害者施設では、機械換気設備による換気が基本です。

- 機械換気設備（換気扇など）の設置場所を把握していますか？
- 機械換気設備の点検はしていますか？

➢老朽化やメンテナンス不良により、必要な換気量（一時間で居室空気の半分以上）の入れ替えが出来ないことがあります。フィルタの清掃・交換は忘れずに！

➢機械換気設備の設置場所や点検についての御不明な点は、設計会社や空調設備の専門家等に御確認ください。

- 機械換気設備は24時間稼働していますか？

➢機械換気設備は、24時間稼働させることを前提に設計されています。

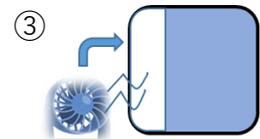
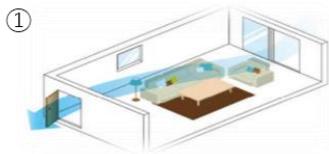
➢機械換気設備の種類は、①中央式空調（冷暖房と一緒に換気）②個別分散空調があります。②の場合は、冷暖房のスイッチと換気スイッチが別になっている場合があります。 **換気スイッチは常にON！**

○ 中央式空調（例）



## 機械換気設備のない部屋では、窓開け換気をしましょう

- 2方向の窓や扉を開けて、室内全体に空気の流れを作っていますか？ ①
- 高い位置の窓を開け、天井にこもりやすい空気を外に出していますか？ ②
- 窓際に扇風機やサーキュレーターを外向きに設置し、室内の空気を排出していますか？ ③



➢目安として、日中は1~2時間ごとに5~10分間、窓や扉を開ける。または常時5~10cmほど開けておくなどして部屋の空気を新鮮に保ちましょう。

## レンジフードを利用した換気では

- ユニット内の共同生活室のキッチンの換気扇を利用していますか？
- その場合、離れた場所の窓を開放していますか？

➢レンジフードは吸い込む風量が大きいのので、窓開け換気と併用することにより、効果的に換気ができます。



# 換気などについての留意事項

## ● パーテーションやアクリル板が換気を遮らないようにしましょう

➢パーテーションなどが高すぎると空気が滞留し換気を阻害する可能性があります。人の顔の位置を目安に、飛沫がかかる可能性のある場所に適宜、置いてください。

## ● 夏場は熱中症に気を付けましょう

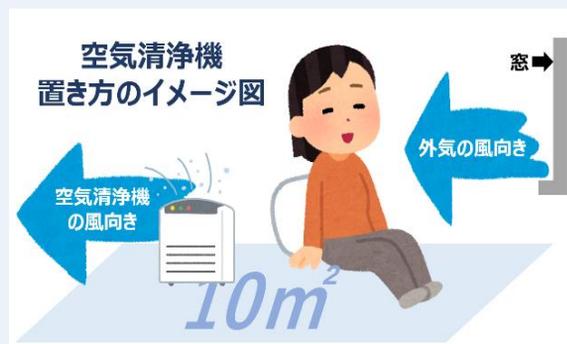
➢夏場は**熱中症予防**のため、適切な冷房に加えて扇風機やサーキュレーターを併用して空気を循環させましょう。**水分補給も忘れずに**  
➢暑い時は無理をせず、熱中症に十分注意してこの夏を過ごしましょう。

## ● 空気清浄機の活用も有効です

➢換気を補うため、窓開け換気に加え空気清浄機の活用が有効です。

### 【望ましい配置】

- ・人の居場所から10㎡（6畳）程度の範囲内に空気清浄機を設置しましょう。
- ・空気のよどみを発生させないように、外気を取り入れる風向きと空気清浄機の風向きを一致させましょう。



## （参考）換気状態を確認する方法

- ◇ CO<sub>2</sub>センサー（CO<sub>2</sub>濃度測定器）を使うことで、CO<sub>2</sub>濃度を測定でき、室内の換気状態を確認できます。
- ◇ 建築物衛生法に基づくCO<sub>2</sub>濃度基準値1,000ppmを超える場合は、換気量が不足しています。測定値が800ppmを超えている場合には、窓開け換気など追加の換気対策をお勧めします。

### 【センサーが正常に動作しているかの確認】

- ・屋外のCO<sub>2</sub>濃度を測定したとき、測定値が外気のCO<sub>2</sub>濃度（415ppm～450ppm程度）に近いか確認しましょう。
- ・センサーに呼気を吹きかけて、測定値が大きく増加することを確認しましょう。
- ・消毒用アルコールをかけた手を近づけても、測定値が大きく変化しないことを確認しましょう。



### （参考資料）

- ・「冬場における『換気の悪い密閉空間』を改善するための換気の方法」（令和2年11月27日 厚生労働省）
- ・「二酸化炭素濃度測定器の選定等に関するガイドライン」（令和3年11月1日 経済産業省）
- ・「新型コロナウイルス感染症都民向け感染予防ハンドブック」（令和2年12月 東京iCDC専門家ボード）
- ・（第68回）東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料（令和3年10月21日）
- ・「実践！換気対策ガイドブック」（令和4年3月・京都府作成）

- 【監修】賀来 満夫（東京iCDC専門家ボード座長）
- 【作成】東京iCDC 換気・室内感染対策タスクフォース（五十音順） 井上 豪（大阪大学大学院）  
大毛 宏喜（広島大学病院）  
金光 敬二（福島県立医科大学付属病院）  
國島 広之（聖マリアンナ医科大学）  
田辺 新一（早稲田大学理工学術院）  
柳 宇（工学院大学）  
矢野 寿一（奈良県立大学）

【編集】東京都福祉保健局感染症対策部計画課 【令和4年6月発行】